

グローバル・サプライ・チェーン・ネットワークの戦略とマネジメント

黄 磷

小論はサプライ・チェーンに関する企業の戦略を競争力の基盤としての市場反応力と外部化の二つの視点から論じ、企業の付加価値活動が地球規模的に分散化する傾向が強まる現実をグローバル・ネットワーク化の視点から捉えることの必要性を強調し、G-SCN の概念を提示した。グローバル・サプライ・チェーン・ネットワークをマネジメントするために、アジリティ（俊敏さ）、延期型システムと組み合わせの経済の三つの編成原理を提示している。

キーワード G-SCN, 市場反応力, アジリティ, 延期型, 組み合わせの経済

はじめに

本稿は、グローバル・ネットワーク化の視点から地球規模に分散化し、外部化するサプライ・チェーンがもつ戦略上とマネジメント上の課題を整理することを目的としている。

実務の世界では、サプライ・チェーン・マネジメント（SCM）は大きな広がりを見せている。しかしながら、販売、製造、そして研究開発など企業の付加価値活動がグローバルに分散化する傾向がますます強くなっているなかでは、さまざまな産業における企業の多種多様なサプライ・チェーンのもつ複雑な現実を理解するための共通した視点が問われている。

また、SCM におけるサプライ・チェーンに関する認識を深めることは、企業のグローバル競争力の基盤を理解するためにとって重要である。特定の国や特定の地域に限定してサプライ・チェーンを分析することは、企業が直面するマネジメントの重要な課題を見逃してしまうことにつながる。

そこで、本稿では、グローバル・サプライ・チェーン・ネットワーク（以下では、G-SCN と略する）という概念を提示してグローバル・ネットワークの視点からサプライ・チェーンのもつ戦略上とマネジメント上の課題を分析することにしたい。

実務的に大きな広がりを見せている SCM におけるサプライ・チェーンに関する認識が企業のグローバル競争力の基盤を理解し、分析するために理論的に狭すぎる、あるいは不十分である理由は、次の三つがある。